

# 令和3年新年 年頭所感

一般社団法人 日本内燃力発電設備協会

会長 平野 正 樹

令和3年の新年を迎えるにあたり、  
謹んで一言ご挨拶を申し上げます。  
皆様には、日頃より当協会の業務につ  
きまして格別のご理解とご協力を賜っ  
ておりますことを、この場をお借りし  
て、衷心より厚く御礼申し上げます。  
新年を迎え、当協会会員並びに役職  
員においては、一同心を新たに、  
自家発電設備の信頼性及び安全性の  
向上に取り組み、社会の安心に寄与  
するとともに、自家発電設備の適切  
な供給及び保全の推進に努めてまい  
る所存です。

さて、昨年を振り返りますと、年始よ  
り年末まで、新型コロナウイルスの世  
界的かつ歴史的な感染拡大に伴い、生  
活様式や経済活動の転換を余儀なくさ  
れました。  
マスクの着用やテレワーク、オンライ  
ン会議などが当たり前の光景になり、  
アフターコロナ、コロナ対策を踏まえ  
た日常生活が定着しました。  
次に、昨年の国内における災害状況を  
顧みますと、豪雨による災害が発生し  
た年でした。  
熊本県を中心に九州や中部地方など日  
本各地で発生した集中豪雨は、「令和  
2年7月豪雨」と命名され、皆様の記  
憶に新しいことと思います。  
気象庁が命名した災害は5年連続とな  
り、私たちの安全を脅かす災害は後を  
絶たない状況が続いております。  
新年が災害の少ない穏やかな1年であ  
りますよう、切に願う次第であります。

なお、停電を伴う災害発生時において  
は、自家発電設備が着実に始動し、非  
常電源としての役割を果たしているこ  
とが報告されております。  
当協会といたしましては、災害対応能  
力の強化のために自家発電設備のさら  
なる普及促進と導入容量の拡大に努め  
ますとともに、時代の変化に的確に対  
応した積極的な事業展開に努めてまい  
ります。  
皆様には、一層のご支援とご理解を賜  
りますよう、お願い申し上げます。  
結びに、「新型コロナウイルス禍」と  
いう異常事態の中に在っても、皆様が  
明るい未来へ向けて、希望がもてる日  
常生活をできる限り早く取り戻される  
ことを心からお祈り申し上げますと  
ともに、皆様のご健勝とますますのご発  
展を衷心より祈念いたしまして、新年  
のご挨拶といたします。